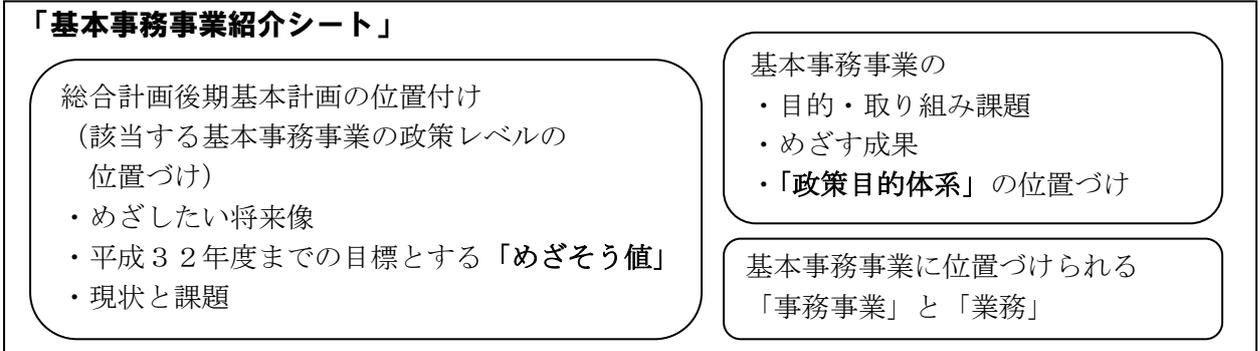


○資料の見方

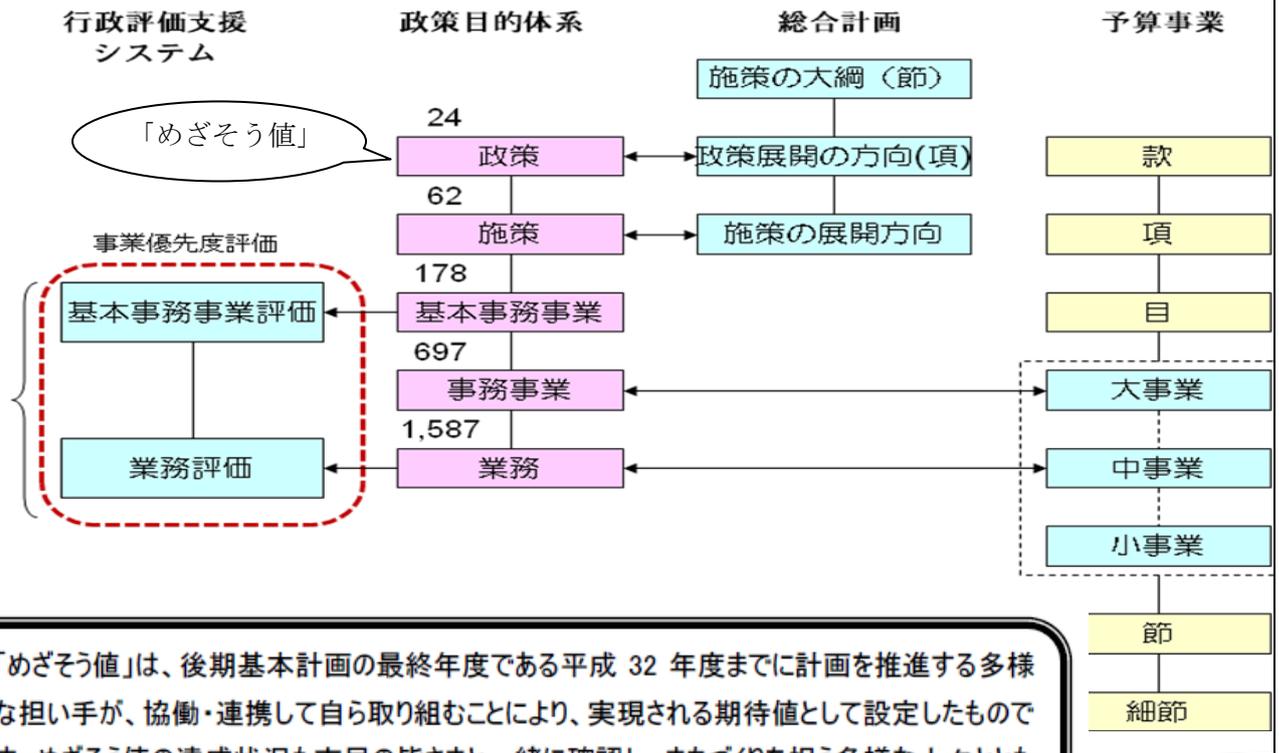
説明資料は、1基本事務事業あたり4種類の構成となっています。

- 1ページ目は、「**基本事務事業紹介シート**」として、対象の基本事務事業の概要を紹介します。対象の「基本事務事業」が総合計画後期基本計画でどのように位置付けられているかや、「基本事務事業」の目的を達成する手段としてどのような業務があるかを表しています。



○「政策目的体系」と「めざそう値」とは？

松戸市では、行政経営の根幹をなすものとして、「政策目的体系」を策定しています。それは、市の行政活動全体を目的と手段の連鎖構造として表したものです。事業優先度評価では、このうちの中間レベルである「基本事務事業」「業務」を対象にしています。



「めざそう値」は、後期基本計画の最終年度である平成32年度までに計画を推進する多様な担い手が、協働・連携して自ら取り組むことにより、実現される期待値として設定したものです。めざそう値の達成状況も市民の皆さまと一緒に確認し、まちづくりを担う多様な人々とともに松戸市をよくしていこうという活動を広げていきます。

○資料の見方

- 2ページ目は、「基本事務事業概要シート①」として、基本事務事業を構成する業務について、“これまで”の取り組み概要を確認します。

「基本事務事業概要シート①」

●シートにある情報

- ・外部環境の変化
- ・内部要因
- ・本基本事務事業における本業務の意義、目的
- ・業務内容
- ・事業費の実績と今後の見通し（H21～26）
- ・H23 人員配置

現状における
担当部課の評価

- 3ページ目は、「基本事務事業概要シート②」として、基本事務事業を構成する業務について、“これから”の方向性を確認します。基本事務事業全体の今後、3～5年間の対象基本事務事業における環境の変化を確認し、事業の見直しの「てこ」(軸)となるような改善のポイントを探求しつつ、改善の方向性を明らかにしていきます。

「基本事務事業概要シート②」

●シートにある情報

- ・今後3～5年間の外部環境の変化
- ・今後3～5年間の内部要因の変化
- ・中期的重要課題
- ・中期的予算額の増減予測
- ・これからを考えたときの業務の目的
- ・H22を基準としたときの指標（H23～25）
- ・今後の変化に対して想定される業務の課題
- ・今後の業務の課題に関する対処・取り組み策

後半では、
事業の見直しの
改善のポイントを
探ります。

- 4ページ目以降は、対象となる基本事務事業に関する追加資料です。
- 主に、平成21年4月に作成した「松戸の強みと弱みを考えるデータ集」からの抜粋です。
- 「データ集」は、松戸市総合計画後期基本計画(平成23年度～32年度)を策定にあたり、本市の地域経営に影響を与える社会経済環境の変化について状況認識し、市民の皆さまと情報共有を図り、共通認識を深めるために作成したものです。